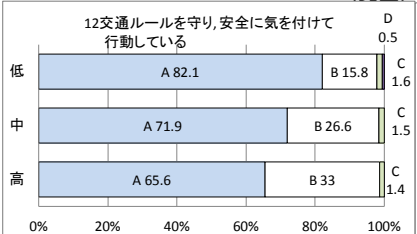
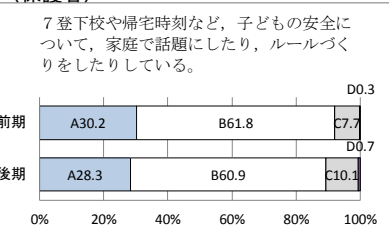


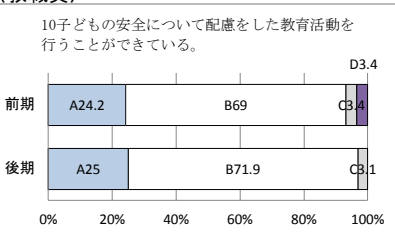
### 3 健やかな体【安全に気を付ける】〈児童〉



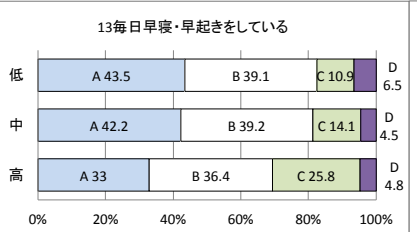
〈保護者〉



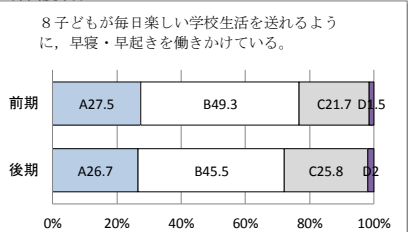
《教職員》



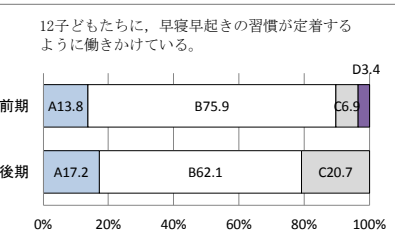
【早寝・早起き】〈児童〉



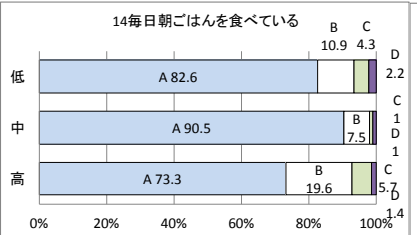
〈保護者〉



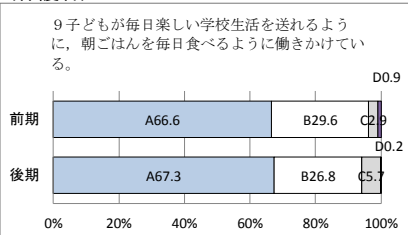
〈教職員〉



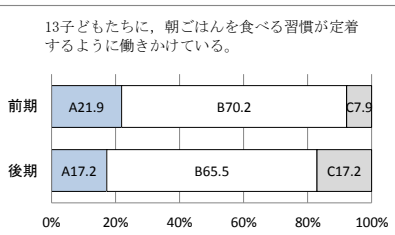
【朝ごはん】〈児童〉



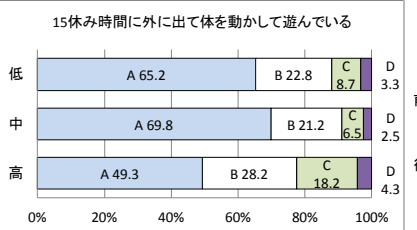
〈保護者〉



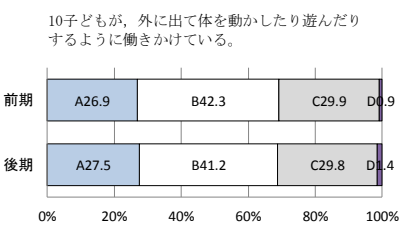
〈教職員〉



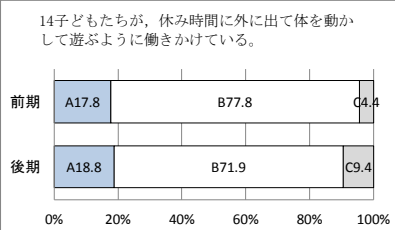
【体を動かして遊ぶ】〈児童〉



〈保護者〉



### 〈教職員〉



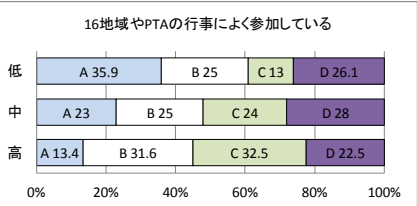
○「名れをつけている」では前期に比べてA回答が低学年で21.6、 中学年で3.1ポイント減となりました、また、「廊下は歩いている」では、 A回答が低学年で3.6ポイント、中学年で29.1ポイント、高学年で7ポイント減となりました。「通ルール」を守り、安全に気を付けて行動している」では、高学年のA回答が7.5ポイント減となりました。どの項目でもA回答が減少していることが気になります。年度初めは子どもたちの規範意識は高く、頑張りうとする姿もよく見られましたが、学級にも慣れ少しずつ気の緩みも出てきていることが原因ではないかと思われます。引続き、全教職員での声かけを徹底するとともに、毎月の安全ノートを活用した安全指導にも力を入れていきます。また、安全面に気を付けて行動することは、自分の命も他者の命も大切にすることにつながるという視点から指導することで、児童の安全への意識を高めていと考えています。

○「早寝・早起き」については、前期に比べ低・中学年でC/D回答が多少減少しているものも、高学年では増加しています。家庭学習や習い事、テレビやゲーム等の影響があるのではないかと考えられます。「朝ごはん」については、低学年でD回答が見られました。これらについては、前期に引き続き改善に向けての取組が必要です。「保健だより」等を活用して学級指導を継続しますので、ご家庭でも基本的な生活習慣の確立に向けて、帰宅後の過ごし方等について話し合っていたりとともに、おうちへのお声かけなどご協力をお願いできますようお願いいたします。

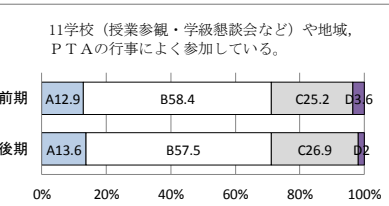
○「休み時間」に外に出て体を動かして遊んでいる」については、低学年の児童もA回答が増えました。特に高学年で18.7ポイント増と大幅に増加しています。毎週火曜日のロング昼休み「ジャンプアップタイム」の時間に児童や教職員に呼びかける放送をすることで、多くの児童、教職員が外遊びを楽しむ姿が見られました。また、学年ごとにも運動場で遊ぶ場所を決めたことで、低学年の児童は安心して外遊びができたのではないかと考えられます。各学級でもスラ遊びを定期的に取り入れたり、運動委員会の大観大会とも運動したりすることで、クラスみんなで外遊びができていくことが増えました。これからも、外遊びが苦手な児童が「遊んでみようかな」と思えるような『遊びの紹介コーナー』を充実させていきます。さらに、来年度は2球ある学級のボールの1球を柔らかいものに変えることで、ボール遊びが苦手な児童の恐怖心を和らげたり、休み時間の体育館開放についても検討していきたいと考えています。このようにして、スポーツや体を動かして遊ぶことの好きな子どもに育てていきたいと考えています。

#### 4 その他

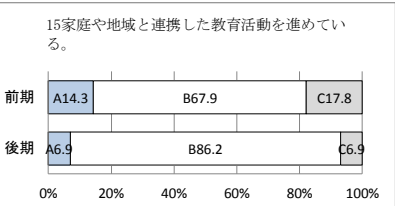
【地域・PTA行事への参加】〈児童〉



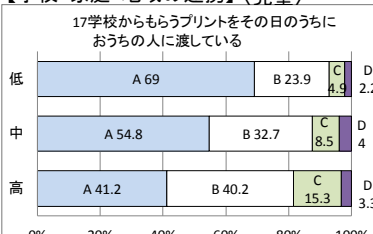
〈保護者〉



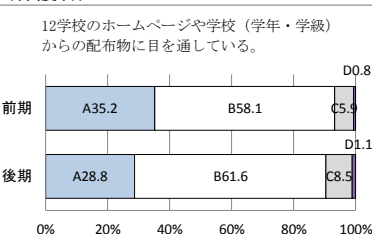
〈教職員〉



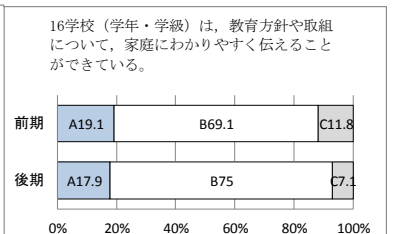
【学校・家庭・地域の連携】〈児童〉



〈保護者〉



〈教職員〉



PTAや地域行事への参加については、児童の回答から、前期と同様「大事だと思うが、（あまり）参加できていない」という傾向が見られました。保護者アンケートでは、学校行事への参加を含めてA回答が前期と比べて若干増となり、D回答が若干減となりました。これからも、多くの方々に参加していただけるよう、おたよりや声かけなど広報に努めたいと思います。地域と連携した教育活動については、「総合的な学習の時間」を中心に、地域人材を生かした教育活動を今後も推進していきたいと考えています。

## ◆自由記述欄より(一部抜粋)

○もう中学年なので、学校で必要なのは自分で用意して、いるものは子どもから言ってくれるようにしていきたいと思っています。

○豊かな心を育むことについて考えるのですが、夏休みを終えたころから休日を友達と遊びたいと言うようになり、同時に会話の幅も広がったように思います。学童へ通っていることもあり、いろいろな学年の方と接する事で心が豊かになっているように感じ、家庭で考える以上に外での育みが大きいように感じます。

○子どもの成長に伴い、個性や人格が表れてくるため、わが子の人権の大切さや表現の仕方がますます重要になる。

○学年はわかりませんが、先日雨の日の下校時、帰っている子の中に、早めにおうちへ帰った子と一緒に何人かが帰ってきましたが、サッカーボールを蹴りながら帰っていました。（おそらく帰った子のボール？）前からは大きなトラックも通っていましたし、こちらは下の妹も歩いていました。危ないなあと思います。早く帰ったであろう子は、ジェイボードに乗っていました。雨の日は傘も差します。広がって歩かれるだけでも危険です。

○子どもを外で遊ばせたいのだが、公園の中だけでは、人がいっぱいだったり、狭かったりで、実際は道路で遊ぶことが多い。人や車の通行があっても道をあけなかつたり、駐車している車にボールをぶつれたり、マナーが守られないことが多いので、子どもの安全よりも、周辺の人への迷惑が気にかかる。

○校区内には、車通りが多いところがあることに加え、子どもの連れ去りなどの多い今の時代に、「外」は子どもたちが安心して遊べる場所ではなくなくなってきていると感じています。身体を動かして友だちと走り回って遊ぶ機会は大切だと思いますが、そういう環境にはないことが残念です。

○寒さや暑さにより、外遊びが必要かどうかなので、働きかける回答が「どちらでもない」の項目が設けられていればより記入しやすいと思う。

○この質問だとすべて家庭での様子のアンケートだと思う。学校評価アンケートではないと思います。質問文の主語を「学校は」にしてこそ、学校評価だと思います。質問文の見直しをされるべきです。

○両親とも共働き家庭のため、平日の昼間の行事には出られないことも多いです。

○自治会、PTA、町代表を掛け持つことになり、今年1年大変である。

○授業参観にはいつも行くようにしていますが、保護者用に少しでも長椅子等置いていただけるとゆっくり観ることができていいかと思います。

◆学校運営協議会評価委員会より 一改善に向けて話し合いましたー

○昔は、放課後にたくさん遊んだり、運動したりできる環境があったが、現在は、子どもたちが思い切り遊べるような場所、時間、仲間（三間）がない。そうした中で、子どもたちが体を思い切り動かして遊べるような工夫が必要である。

○学校で休み時間以外遊びをしている子どもの数は、全体的に増加しているが、今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、京都市や本校児童の体力は全国平均と比べて低い傾向にある。運動場で思い切り体を動かせる環境を整えたり、教職員による遊びの紹介（昔はよくしていたゴムとびや縄跳び、鉄棒遊びなど）を積極的に行うことで、遊びの内容を充実させていきたい。

○普段の遊びの中に、体力テストで計測している瞬発性や筋力を高めることにもつながるような動きを取り入れることはできないだろうか。その結果が児童の体力向上につながれば考える。心身ともにたくましい子の育成を今後も目指していきたい。

○このアンケートの趣旨をより理解していただけるよう、来年度からは、「学校評価アンケート」の名称を「ふり返りアンケート」に変更して実施する。

◆学校評価アンケート－振り返りを通してより良い教育活動へ－

京都市教育委員会生涯学習部より発行されている「コミュニティ・スクール通信@京都」にも掲載されているように、子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を構築することが何よりも大切です。そして、三者が「子どもたちのために、自分はどういうことができるだろうか。」という意識をもって、それぞれが教育活動に参画し、子どもを育むための取組を進めていくことが大切です。

このように、子どもたちへの教育は、学校だけで行うものではありません。「PLAN」（教育計画）⇒「DO」（教育活動）⇒「CHECK」（点検【評価】）⇒ACTION（修正・改善）のサイクルの中で、教職員は、「教職員アンケート」を通して自己の取組について振り返っております。同様に、保護者の方にもアンケートを通して「自分はできているだろうか。」と振り返って考えていただき、今後のより良い教育活動に生かしていただく機会として、「保護者アンケート」を実施しております。ご理解いただきますようどうぞよろしくお願い致します。

